

永寿園とよなか

井崎由紀子様作

平成27年 第2号
 発行人：所長 太田 卓哉
 発行：永寿園とよなか
 〒560-0084
 大阪府豊中市新千里南町
 3-2-122
 TEL：06-6840-2211
 FAX：06-6840-2214
 E-mail：eijyuentoyonaka122@seagreen.ocn.ne.jp
 URL：http://www.osj.or.jp/eijyuen/



所長挨拶

所長 太田 卓哉

平成26年4月より、豊中市立養護老人ホーム永寿園とよなか所長兼 特別養護老人ホーム永寿園とよなか 荘長をしております太田卓哉です。

永寿園とよなかは平成25年3月に開所し平成27年4月から三年目を迎えることとなりました。今年度は、永寿園とよなかの理念である「その人らしく、ここで」を実現できるよう、相談、介護、看護をはじめとする全職員による事業所内連携の重要性、専門性を高め、支援サービスの向上を目指すとともに、職員個々の人権意識の向上を目指し、徹底していく事を施設目標としていきます。

また、安心、安全な生活を送ることができるよう、在宅からの延長線上にある生活の場所としての位置づけを確立するために、一人ひとりの想いと人格を尊重し、入居者に寄り添うケアを実践し、自立した生活を営むことができるよう、的確なケアプランを策定し、実践します。

養護老人ホームと特別養護老人ホームの事業所間を超えた入居者同士の交流に努め、日常生活の活性化と連携を図ることを事業方針として取り組んでいきたいと考えておりますので、どうぞよろしく申し上げます。



1. 施設目標

永寿園とよなかの理念である「その人らしく、ここで…」を実現できるよう、相談、介護、看護をはじめとする全職員による事業所内連携の重要性、専門性を高め、支援サービスの向上を目指すとともに、職員個々の人権意識の向上を目指し、徹底していきます。

2. 事業方針

(1) 介護・生活支援サービスの向上

安心、安全な生活を送ることができるよう、在宅からの延長線上にある生活の場所としての位置づけを確立するために、一人ひとりの想いと人格を尊重します。入居者によりそケアを実践し、自立した生活を営むことができるよう、的確なケアプランを策定し、実践に努めます。

養護と特養の事業所間を超えた入居者同士の交流に努め、日常生活の活性化と連携を

図ります。

事業開始3年を迎えるにあたり、第三者評価を受審し、施設職員一丸となってサービスの質の向上を目指します。

(2) 経営基盤の安定に向けた取り組み

措置機関との連携を図り、特に豊中市との連携を密にすることにより、円滑な入所者の受け入れを行うとともに、施設内における転倒事故防止に取り組み、入院者を減らし、安定した利用を目指します。

短期入所利用者が、繰り返し永寿園とよなかを選んでいただけるよう、サービスの向上を目指すことで、安定した利用率を確保します。

(3) 人材育成と職場環境の整備

人材の確保に努めるとともに、正規・非正規職員の育成のため、個別研修プログラムの充実を

図り、非常勤職員の常勤化を進めていきます。人権意識の向上を図るために、職員対象の意識調査と人権研修を定期的実施します。

(4) 地域社会における施設の役割と連携

地域住民の一員として、積極的に地域活動に参画していきます。また、施設を社会資源として地域の皆様に活用していただけるよう、働きかけをしていきます。昨年度から子育てサロンが地域交流室で開催されるようになりましたが、施設が世代間の交流の場となるよう取り組むとともに、高齢者に限定することなく、幅広い世代の地域住民に活用される取り組みをします。

3. 平成27年度ステップアップ事業

(1) 施設と地域を結ぶ認知症サポーターの養成
①取り組み内容

施設と地域を結ぶ「認知症サポーターの養成2か年計画」の2年目にあたり、入居者向けの認知症サポーター養成講座を開催し、認知症の人をみんなで支えています。

入居者に認知症サポーター養成講座内の寸劇に参加して頂き、入居者にキャラバンメイトにもなって頂く支援をします。認知症サポーター養成講座を東京五小学校区以外の地域住民向けにも継続的に開催し、地域で認知症の人を支える基盤づくりを働きかけていきます。

②達成目標

新たな公民館に認知症サポーター養成講座への参加や、出張講座の開催ができるよう取り組んでいます。また、小学校・中学校において、認知症サポーター養成講座の開催ができるよう取り組んでいます。

行事報告 2周年記念行事



◀ 太田所長の挨拶で永寿園2周年記念行事が開幕です。



▲ 永寿園とよなか2周年記念ロールケーキを作りました。



▲ 永寿園の食卓を演出している㈱ナリコマエンタープライズのスタッフさんが会場でうどん餃子の実演調理中です。



◀ カラオケ大会で盛り上がっています!



▶ 養護老人ホームの入居者の皆様が余興で一役買ってくれました。

豊中市立養護老人ホーム

満開の桜を見に行きました



春風そよぐ4月のある日、ドライブを兼ねてお花見に出かけました。当日はとても暖かく、絶好の花見日和、車から見える桜のトンネルに利用者のAさんは「わあー綺麗ね。なんか命の洗濯が出来たわ。」利用者のIさんは「今年は雨が降るって言うていたからもう諦めてたんやけど良かったです。」小雨降る日に見たKさんは「来年はお天気の良い日に行きたいな。」等と話されていました。来年はお天気になりますよ〜に★

新しい仲間です

この度4階に小さな仲間が入ってこられました。メダカの親子です。小さな赤ちゃんメダカと大きな大人メダカです。4階に来られたらぜひ見に来てあげてくださいね★



特別養護老人ホーム

出来る限り、入居者様ひとりひとりと向き合い、寄り添うことで、「よくしてくれるね」「いつもありがとう」と職員に笑顔で言って下さり、安心して過ごされる時が徐々に増えてきているのではないかと考えています。また、職員と入居者様だけでなく入居者様同士も、互いに気かけたり、誕生日会では自ら歌を歌って下さったりと温かく穏やかなユニットも見受けられました。今後も入居者様一人ひとりが「その人らしく」笑顔で過ごして頂けることを目標に、各ユニットや全体でイベントを増やしていきたいと考えています。

花見

近くの遊歩道までお花見に行きました。花曇りの身体に優しい午後の一日、皆さん30分ほどですが、咲く桜と桜吹雪を鑑賞されました。



駅弁

3か月に一度ですが、折詰にした駅弁を地域交流スペースで全ユニットの入居者様が昼食を楽しめます。



ショートステイ 音楽体操

ショートステイでは、毎日14:30～14:45までの15分間ですが、DVDを使って音楽体操を行っています。

毎日、当番の職員が先生になって、歌を唄いながら体操をします。

特養の入居者の方々も参加して持て余しがちな1日の生活の中で良いアクセントになっています。



誕生日

4月14日に101歳のお誕生日を元気に迎えられました。



デイサービスセンター

永寿園とよなかデイサービスセンターは、豊中市立
 養護老人ホーム永寿園とよなかの入居者が利用され
 る、10名定員の小規模デイサービスセンターです。

毎週、月曜日から金曜日までの5日間運営しています。
 レクリエーションや入浴を楽し
 みながら、毎日の生活に潤いと
 リズムが生まれるように、ま
 た、アットホームな雰囲気の大
 切に、スタッフ一同利用者様の
 来所をお待ちしています。



クラブ活動【コーラス部結成しました】

永寿園とよなかの食堂から夕方になると、いつも楽しそ
 うな歌声が聞こえてきます。「ハイッ。次はふるさとを唄
 うよ。」とリーダー役のM様が皆様に声をかけて下さり、
 歌好きの方が集まっていつの間にか結成されていました。
 季節のうたから懐メロとレパート
 リーはたくさん。3月23日の
 2周年記念日には自慢の歌
 声を披露して頂きました。
 これからも、たくさん歌っ
 て3周年記念日もよろし
 くお願いしますね★



▲2周年記念日
 でお披露目です。

医務室より

この度、永寿園とよなかの管理
医師として勤務する事となりまし
た塚 未奈子です。

関西医科大学を卒業後、京都市
立病院の内科で2年間研修し、同
大学病院の循環器内科医として勤
務して参りました。

一般内科医として、少しでも入居
されている方々が快適な園での生
活を送っていただけるよう、がんば
りたいと思っておりますので、宜し
くお願い申し上げます。

最後に秋の気配を感じるこの
頃、引き続き水分補給とバランス
のとれた食事をして、皆様が日々
健やかに、お過ごしできますよう
お祈りいたします。



厨房

介護食を必要とされる全ての方に、“食べる喜び”を感じていただけるようお食事づくりをしています。

咀嚼が困難な方向けのお食事“きざみ食”の変わりとして提供しています。普通食のように美しく盛り付ける事ができ、まとまりがあるのでこぼれにくく、歯茎や舌で潰しながら食べられるお食事です。

普通食



ソフト食



これからも、ご利用者様に安全で美味しいお食事を提供し、喜んで頂けるようスタッフ一同努力して参りますので、宜しくお願い致します。

認知症サポーター

永寿園とよなかでは、認知症サポーター養成講座を定期的を開催しています。

平成26年度実績

- | | | |
|------------|-------------|-------------|
| 平成26年4月27日 | 平成26年8月29日 | 平成26年12月18日 |
| 平成26年5月15日 | 平成26年9月30日 | 平成27年1月24日 |
| 平成26年6月28日 | 平成26年10月31日 | 平成27年2月25日 |
| 平成26年7月23日 | 平成26年11月25日 | |

平成27年度は平成27年5月27日と7月29日に開催しました。
今年度も、月1回 開催する予定です。今後の予定については、決定次第、掲載していきますので、よろしくお祈りします。
「認知症サポーター養成講座」を受講すれば、どなたでも「認知症サポーター」になれます。

また、出前講座もさせていただきますので、ご要望がございましたら、お気軽に永寿園とよなかまでお問い合わせください。 問い合わせ先 06-6840-2211 永寿園とよなか 事務所担当者まで



受講された方には、認知症サポーターの目印である「オレンジリング」が渡されます。

ご挨拶

特別養護老人ホーム 介護科長 酒井郁子

この度、四條畷荘より着任いたしました酒井郁子です。覚えなければならぬこともたくさんあり、毎日が緊張の連続です。

特養は開設3年目を迎えます。今年度は、永寿園とよなかの理念である「その人らしく、ここで…」をモットーに、ご入居者一人ひとりの個性を大切にしたい個別ケアをさらに追及し、よりよいケアを進めていきたいと考えております。

また、当施設が幅広い世代の地域の方に活用され、地域資源としての役割を果たせるように、職員一同邁進していきますので宜しくお願いいたします。



養護老人ホーム 介護科長 堀 令子

永寿園とよなか開園から2年間、特別養護老人ホームの介護科長をさせて頂いておりましたが、この4月から養護老人ホームへ異動となりました。

養護老人ホームの入居者の皆様とは、日頃からお顔を会わせる機会も多く、更に多く関われる時間が出来たことにワクワクしています。

養護老人ホームで生活される皆様にとっては「集団の生活」が苦手な方や不便を感じておられることもあると思います。

施設での生活を理由に閉塞感のある日常を過ごしていただかないよう、皆様の笑顔に繋げていくためには、地域社会との関わりと地域活動への参加、そして日々のサービスの見直しや職員が楽しく仕事ができる環境作りが必要です。

その為にも皆様からの忌憚のないご意見とご協力をいただきながら頑張りますので、よろしくお願ひ致します。

2015年 永寿園とよなか 夏の恒例行事

7月24日 屋上庭園にてピアガーデンを開催しました。



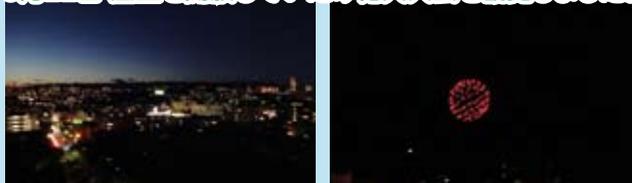
屋上庭園で夜景を眺め、風の心地良さを感じながら、夏の夕暮れを楽しみました。
地域住民の方々も沢山足を運んで下さっています。

8月7日 玄関前広場にて夏祭りです。



毎年、近隣にお住まいの子供達が大勢遊びに来てくれます。永寿園とよなかの入居者様も参加して今年も大いに盛り上がりましたよ。

8月22日 屋上を開放していたみ花火大会を観覧しました。



入居者の方々、住んでいる2階のベランダからも観覧しました。

編集後記

今春に広報担当を命じられ、この広報誌「永寿園とよなか」2号目の制作に取り掛かりました。当初、夏前には皆様にお届けしようと意気込んで鼻息荒く、資料集めや各部署への文書依頼を始めましたが、意気込み虚しく日々の忙しさにかまけて、気が付けば秋になっていました。

内容も私自身、完全に納得できるところまで作り込む事は出来なかったと感じながらも、初回号から今号まで1年間以上空いてしまっている現状をまずは打破しなければと、この「永寿園とよなか」広報誌第2号を作り上げました。

これからは、タイムリーに第3号、第4号を発刊できるようにスタッフ一同、力を合わせて頑張りますので、暖かく見守り下されば幸いです。

今後とも永寿園とよなかを宜しくお願い申し上げます。